

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	安政推第 1691 号
		決裁期日	令和 6 年 7 月 29 日
名 称	令和 6 年度 第 1 回安平町未来創生委員会		
日 時	令和 6 年 7 月 25 日 午前・ 午後 1 時 3 0 分 ～ 3 時 4 0 分		
場 所	総合庁舎 大会議室		
出席者	委 員 10 名 外部有識者 3 名 安 平 町 (政策推進課) 課長以下計 5 名		
会議概要	<p>1 開会（進行：渡邊政策推進課長） ◇過半数以上の参加により委員会が成立していることを宣言</p> <p>2 委員長挨拶 ～省 略～ ◇第 2 次安平町総合計画後期基本計画と安平町デジタル田園都市国家構想総合戦略の進捗状況についてが議題となっているのでご意見等いただきたい。</p> <p>3 議事 (1) 安平町未来創生委員会の役割からみる安平町の計画について【P 2～6】 ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><A委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安平町がかつて15,000人程度の時代もあったかと思う。 ・減少抑制という考え方はもっともではあるが、安平町は教育に力を入れていてすごく注目される中で新千歳空港なども近くて立地も良い。 ・だからこそもっと上を目指す、15,000人を目指すくらいではなければならないのではないだろうか。具体的増加の人数を掲げた方が、やることが見えてくる。 ・成り行きでいくのではもったいない。活性化は維持できない。7,300人の維持でも難しいと思っている。 ・ラピダスも、人を呼び込むためのものすごく大きなチャンス。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフには、制作時点が古いためラピダス効果については反映されていない。 ・当然に上（人口増加）を目指してやっていきたい。 ・財源や実現可能な範囲を見定めたいうえでやっていきたい。 </div> <p>(2) 第 2 次安平町総合計画 後期基本計画の進捗状況について及び (3) 「デジタル田園都市国家構想総合戦略の進捗状況について」【P 7～20】 ◇資料に基づき説明：事務局 ◇質疑応答要旨</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><B委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率の推移について、数値が低下しているという結果が出ているが、町としてどのように受け止めているか。 ・転入超過している状況になっていて、子育て世代の流入はあると思うが、今後の状況についてどのように考えているか。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単年では低下しているが、今後転入してきた方がさらにお子さんを生んでいただくことで増加に転じることを期待している。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><C委員></p> </div>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート水道検針等のデジタル化について説明をいただいたかが、感じることでしては、このままあらゆるものでデジタル化した先の未来がどのようなになるのかを案じている。 ・人と人の会う機会の低下や、仕事の減少を懸念している。 ・
	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行き過ぎたデジタル化、省人化は避けていきたいと考えているが、現状の事業はその辺の本質を見失うまでの事業ではないないと考えている。 ・これらの事業が直ちに人と人との出会いを無くす、仕事を奪うということにはなっていないということ。
	<p><D委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への施策については、確実に効果を発揮していると思う。 ・追分高校の入学人数について、地元から入る人の人数が指標化されていることについて如何考えるか？ ・小学校と中学校が素晴らしい教育をしている。高校も通じてマチに誇りを持ってもらうための工夫が必要。高校で途切れるのは勿体ない。道立鹿追高校が大変良い先行事例であると考えている。道立だからできないということはないと立証されている。 ・通信制大学のキャンパスを置くことができれば、費用を少なく抑えながら大学まで一貫して地元で教育を受けることができるのではないかと考えている。若い人々の力が非常に重要である。
	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状で状況が変化しており、地元進学率を見られるということは弱まっている。 ・前回もお話を聞かせていただいて、大変良い構想であると捉えている。 ・タフな若者が集まるような施策を、これからも打っていきたい。
	<p><E委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本一の公教育」を標榜する中で、海外からもそれを体験しに来たと言われる方が増えてきた。日本一にどこまで付いていけているか、認識があるかという部分にギャップが出てきているのかもしれない。私立（民間）は独自色を出せるが、公立は大変難しい問題。 ・既に転入して着方の中で、発達等や家庭環境等に課題がある方々が増えてきているため、この辺を全庁的に押さえていく必要があるかと考えている。 ・児童館を運営する立場として、これから追分（学園ができて）がより活発化されることが想定される中で、先行している早来地域でやれることをしっかりやっていきたい。
	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・早来地区については、今まで通りやっていただくことが日本一に近づくものと認識している。 ・児童館については、早来、追分双方で活発になっていくことを期待してる。
	<p><C委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・追分学園の計画が今後進んで行く中で、どれだけ一般市民が議論に参画できるのか。
	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後積極的にご参画いただく機会が出てくるものと考えている。
	<p><D委員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムの実施施設が現状0件という実績だが、必ずしも施設は必要ないのでは。既存の環境で十分素敵なロケーションなどが揃っているので、サイクリングコースなどを開発しては如何か。 ・介護予防事業については、非常に利用者数が増えている。喜ばしいことである一方不安を抱えているという裏返しであると思う。積極的に地域に入っていくことが必要では？
	<p><事務局></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムについては、歩いたりサイクリングしたりという指標ではなか

ったが、ヘルシーウォーキングなどが定着しているので、別角度から考えていきたい。
・介護予防の参加者数増というのは、先生方や保健師等が足を使ってつながっている成果だと考えている。

<A外部識者>

・明日から学生を連れて安平町に行くタイミングで今回参加しているので、とてもリアルに聞くことができている。
・今安平町では大きな動きが出てきている。高齢者を中心に施策展開していないのが珍しいことであるが、高齢者と子ども達との間に起きている事柄がKPI指標として立っていないため、質的調査を実施した方が良いのではないかと思う。そんなに多くの調査客体を確保する必要もないと思っている。
・明日以降のフィールドワークでの結果については、本学としてもフィードバックさせていただきたいと考える。

<事務局>

・現在安平町では子ども達に意見を聴くということを大切にして活動している。今後はそうした面にもフォーカスできるようにやっていきたい。

<D委員>

・環境保全型面積について、もう達成してしまったのか？見込みが甘かったのでは？その次のステップは？
・食とエネルギーが重要だと考えている。バイオマス発電がキーだと考えているが、安平町においてエネルギー関係の取組みをどのように考えているか？基準を持っているか？

<事務局>

・報道でもある通り、原材料価格の高騰など複合的な理由が相まって、農薬化学肥料を使わないものが広がってきているということが一つ要因として挙げられると考えている。
・オーガニックビレッジ宣言をしたことも踏まえ、現在地域の農家さんのご努力にもフォーカスしながら、安平町をしっかりとPRしていきたい。目標を達成したからこれで終わりとは考えていない。
・学校給食についても、積極的に導入を進めている。道の駅の農直にも力を入れている。

<政策推進課 渡邊課長>

・エネルギーに関しては、災害時にエネルギー供給を電気事業法に基づいて行うことになるため、遠浅地区での融通については現状難しい状況。
・今後検討をすすめる事業者については、お願いベースで各企業にマッチした地域貢献のかたちをお願いしていきたい。

<B委員>

・犯罪発生件数について、3倍となっているがどういった状況か？困窮などが背景にあるのではと懸念している。
・町のPRについて、HPで大変魅力的な改修が行われているがとても良い改善が続いていると認識している。

<事務局>

・コロナが一つ影響していると聞いている。万引き・窃盗が増えている状況。長期的に見ると概ね平均値であると認識している。
・町のHPについては、毎年着実に手を加えている。これからも進めていきたい。

<B外部識者>

・空き家活用について、大変良い成果が出ているが要因は？

<事務局>

・常口アトムさんと連携して空き家の活用促進を進めている。掘り起こしがかなり進んでいる。

4 その他

◇退任するC外部識者よりご挨拶

◇次回任期や次回開催について事務連絡

7 閉会 (15:40)

以上、終了。